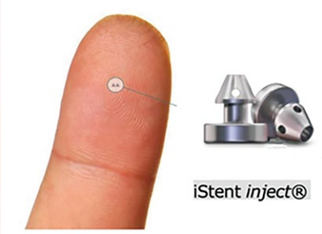
気になる 病院大図鑑

緑内障の手術

緑内障は早期発見・早期治療・治療の継続が重要です

大雄会第一病院の眼科では緑内障の様々な治療法から症状に合わせた手術を選択します。原則的に、初期は低侵襲緑内障手術（MIGS）で対応し、進行例には濾過手術を行います。当院は症例数が年間100例を超える県内でも有数の施設です。

低侵襲緑内障手術（MIGS）



■iStent（アイステント）を用いた水晶体再建術併用眼内ドレーン手術

房水の出口にiStentと呼ばれる小さな器具を挿入することで、房水の排出を改善し、眼圧を低下させ安定させることが期待される手術です。iStentは0.36mmと小さく、挿入時の痛みもありません。

■カフークデュアルブレードを用いた線維柱帯切開術

眼圧を下げるために、2本の刃先で線維柱帯（眼の中の水の出口）を切除することにより水の流れをスムースにします。結膜（白目の部分）を傷つけずに角膜の小さな創口から器具を挿入して切除ができる、負担の少ない手術です。

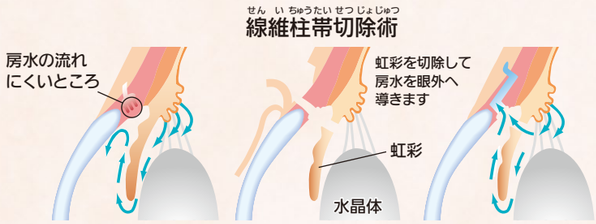
■谷戸氏マイクロフックを用いた線維柱帯切開術

小さな切開創よりマイクロフックを挿入し、線維柱帯を切開する手術です。

濾過手術

■線維柱帯切除術

房水を通常とは別の経路から逃がし、眼圧を下げる手術です。進行した緑内障に対して行われる事が多い術式です。



■エクスプレスを用いたチューブシャント手術
（プレートのないもの）

金属製のチューブを用い、新たな流出路を作成する、虹彩切除の必要がない安全な手術です。また術後の合併症も他の手術に比べ比較的少ないのも特徴です。

■アーメド緑内障バルブを用いたチューブシャント手術
（プレートのあるもの）

難治性の緑内障に用いる手術で、プレートを用いることにより流出路の閉塞を防ぐことが特徴です。

施設紹介

〈眼科〉
大雄会第一病院
〒491-8551
一宮市羽衣一丁目6番12号
☎0586-72-1211（代）

社会医療法人
大雄会
企画・発行：社会医療法人大雄会 経営企画課
☎0586-24-2565　pr1@daiyukai.or.jp
だいゆうかい　検索

FREE｜ご自由にお持ちください

社会医療法人大雄会
地域健康情報誌［テ・ア・テ］

Te・A・Te

特集

40歳を超えたら気をつけて 緑内障をよく知ろう

撮影協力：国営木曽三川公園138タワーパーク（一宮市）

緑内障セルフチェック

VIATRIS
「視野の欠け」セルフチェックサイト
https://www.ntg40.jp/selfcheck/howtouse02.html
スマートフォンは画面が小さいため検査はPCをご利用ください

特集

40歳を超えたら気をつけて

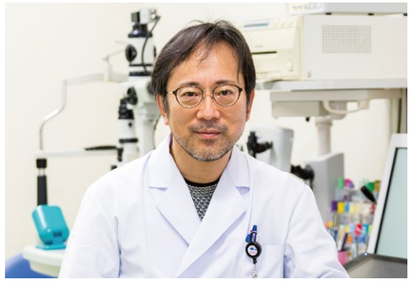
緑内障をよく知ろう

日本人の失明原因第1位の病気は緑内障です。決してめずらしい病気ではなく、40歳以上の5%（70歳以上では10人に1人）の方が緑内障になっているといわれています※。また、強い近視がある方は緑内障の発症リスクが高いといわれています。自分で症状が自覚できるようになる頃にはすでに病気が進行していることが多く、重症になると失明の危険もあるため早期発見が重要です。

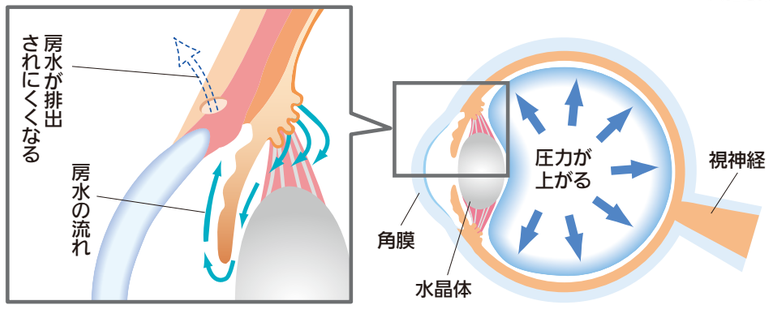
※日本緑内障学会 緑内障疫学調査

緑内障とは？

緑内障は、視野が狭くなる病気です。**一度視野が欠けてしまうと、治療を行っても戻すことが困難です。**主な原因は、眼球内を満たしている房水（ぼうすい）を排出できず眼圧が上昇することで、視神経や網膜神経線維が障害され進行します。



社会医療法人大雄会 副理事長
大雄会第一病院院長
伊藤 康雄医師



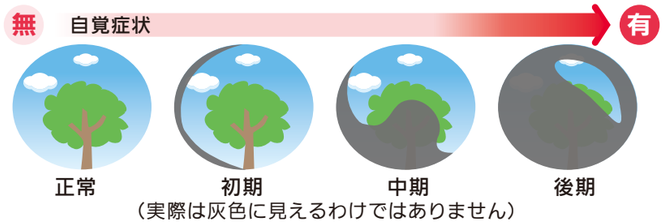
緑内障の種類

1. **原発緑内障**
   - ①正常眼圧緑内障
     前視野緑内障
   - ②原発開放隅角緑内障
   - ③原発閉塞隅角緑内障
2. **続発緑内障**

詳しくは大雄会 眼科ホームページをご覧ください

■ 視野が欠けていくイメージ

視野の欠け方には個人差がありますが、たとえば右図のように進行していきます。灰色の部分が視野の欠損部分です。



（実際は灰色に見えるわけではありません）

視力が良くても視野が狭くなってしまうと、くっきりと見える範囲が狭いため見え方が悪くなってしまいます。つまり視力が良くても「緑内障」としては進行している場合があるのです。

CHECK! こんな事があったら『緑内障』検査を受けましょう！

- ☐ 活字を読んでいる時に文字が暗く抜けて見えにくい箇所がある
- ☐ 歩行中、障害物に気付かずぶつかってしまうことがある
- ☐ 血のつながった家族や親戚に緑内障の方がいる

日常生活の中でものが見えにくいと感じたときには既に病気が進行してしまっており、治療が困難になってしまいます。初期の緑内障の場合で自覚症状がなくても、眼科で視野検査を受けるとわずかな視野欠損（しやけつそん）が見つかる事があります。

検査について

視力・眼圧測定 眼圧が高いと緑内障が進行しやすくなるため、定期的にチェックします。

視野検査 わずかな視野欠損を早期に発見することができます。前回の検査結果と比較することで病気が進行していないかをチェックできます。

光干渉断層計（OCT） 視神経の形や網膜の厚みをしらべることで緑内障が進行しやすい方を発見したりどの部位の視野が欠損しやすいかを推察することができます。

眼底検査 視神経がどの程度障害されているかを調べます。

治療について

緑内障の治療は、眼圧を下げることにより、視野障害の進行を止める、または遅らせる治療です。視覚の質（Quality Of Vision:QOV）と、それに伴う生活の質（Quality Of Life:QOL）を維持する目的で行われます。

大雄会 眼科ホームページ

点眼治療 点眼治療で眼圧を下げることにより緑内障の進行を遅らせることができます。

レーザー治療 緑内障の中でも最も多い原発開放隅角緑内障の方向けに房水の流れを妨げるメラニンだけを減らして排出量を増やし、眼圧を下げる治療です。

手術治療 点眼治療だけでは眼圧下降の効果が限られる場合や、急激に進行した緑内障に対して手術治療を行います。

手術の内容について
P.3へ
病院大図鑑へ

早期発見・早期治療を

人間ドックや健康診断で緑内障の疑いがあると診断された場合は、お近くの眼科医院で視野検査などの緑内障検査を受けて、早期発見・早期治療を行いましょう。